

食品加工会社の産地偽装報道について

1. 概要

10月31日（火曜）神奈川県川崎市教育委員会からの報道発表があり、市内の学校給食に納入された豚肉に産地偽装があったとの報道があり、納入した豚肉を扱っていた食肉加工会社は「㈱寿食品（同県相模原市中央区）」で、国内産の豚肉に外国産輸入肉を混入して国内産と偽っていたことが判明しました。

学校給食センターではこの業者から直接食肉を仕入れており、10月の納品では同月20日（金曜）までに豚肉と鶏肉、ベーコンの使用があったため、これらの食材が川崎市と同様に産地偽装されたものか確認できない状況のなか、同月23日（月曜）からの納品はすぐに別業者に発注変更し、献立変更など給食提供に支障がないよう対応しました。

この件については報道が先行したため、11月2日（木曜）、全小・中学校校長宛てと保護者宛てに、産地偽装の疑いで捜査を受けている「㈱寿食品」から納品があったことと今後の対応等についてお詫びも添え文書を発出し、同日に市の公式ホームページで公表しました。

2. 経過（11月15日時点）

月 日	経 過
10月20日（金）	○寿食品から各調理所へ来週23日（月曜）以降の納品ができないと連絡 ○両調理所で情報を共有し、10月23日以降の納品は別業者に発注変更
10月26日（木）	○神奈川県生活衛生課から「寿食品が産地偽装の疑いで神奈川県警が捜査している。捜査で保管食材を使用する可能性があるため、保管食材を廃棄せず提供依頼があった場合に協力すること」の依頼
10月31日（火）	○川崎市教育委員会事務局からホームページで「学校給食で使用した豚肉を加工業者が外国産を国内産だと偽って（産地偽装）納入した件について」掲載し公表。一部マスコミ報道あり ○多摩市も公表の方向で検討し、稲城市をはじめ26市で情報を共有
11月1日（水）	○学校長や保護者への通知とホームページ掲載について内部決定 ○㈱寿食品にFAXで問合せした結果、「本日、警察が社内に入り捜査中のため回答できないが、出荷した肉は安全性に問題は無い」とのこと。その後の連絡は不通。10月分請求書は届いた
11月2日（木）	○市内小中学校と帝京大学小学校、保護者宛へ通知し、公式ホームページで「加工食品会社の産地偽装報道について」を掲載 ○多摩地域の他市でも同様の事案が起こり、府中市が代表で、東京都教育庁へ26市の状況把握と統一的な対応について要望 ○これを受け東京都教育庁より各市町村教育委員会宛にメールが依頼

11月8日(水)	○神奈川県警生活経済課から各自治体で保存食検体の産地判別検査を推奨し10月分の納入量を報告するよう依頼
11月9日(木)	○府中市にも同様の依頼があり、東京都教育庁へ県警からの依頼を報告し、改めて都に対し広域的な対応と一括検査するよう要望
11月13日(月)	○総務部法務担当に法律相談(以下相談内容) ・10月分の請求に対して支払う必要の可否について ・産地偽装された食材が納入されていた場合の損害賠償請求の可否 ・損害賠償請求者についてほか今後の対応
11月15日(水)	○(株)寿食品食肉加工本部が廃業

3. 今後の対応

○給食提供について

- ・先月から引き続き別業者へ発注し、献立内容に支障がないよう滞りなく肉・肉加工品を受け、安全安心な学校給食の提供につとめてまいります。

○食材の安全確保について

- ・産地偽装のあった食肉(肉・肉加工品)については今月以降、全ての納品業者に産地証明書を提出させ、見積書や契約書、納品書との突合と納品時の検査を実施していきます。
- ・また、来年度から令和6・7年度学校給食物資納入業者の指定登録更新となるので、取扱要項に規格表に従った内容で、納品時には継続して産地証明書を提出させるよう周知徹底を図っていき、再発防止につとめてまいります。
- ・食材の安全性を確認するために必要な検査については、定期的に食品検査を実施して検査結果を公表していきます。

○賠償請求について

- ・産地偽装による損害賠償請求については法務担当と相談して適正に対応していきます。